

基礎が大事。
やっぱり勉強って、
大切なんだ。



いろいろな職業の人を
知ることは、
いろいろな自分を
知ることになると思う。



間違っていても良い。
自分がどう思ったかを
言葉にする。



働くのは
お金のためではなく、
人のためだと気づいた。



興味のあることが、また一つ増える。



自分が企画という裏方に
まわってみることで、
楽しいことの裏では
大変なこともあるとわかった。
大変だけど、
やりとげなきゃいけない。
参加した人の笑顔を見て
うれしかったのが発見だった。



やる気のある、
カッコイイ大人と出会う。



大学生から、
将来の夢と
今の学びを
詳しく聞く。



仕事って
面倒だと
思っていたけれど、
楽しそうだと思えた。

作業は大変だったけれど、
やりがいを感じたし、
終わった時には達成感すら感じた。
それは、多分自分のやっている事が
人の役に立つことだったからだと思う。



チームで協力して
やりとげる、
達成感を味わう。

チームワークの大
切さがわかった。
人に伝える力を
身につけよう、と思った。



自分を見直したり、いろいろな人の話を聞くことによって、自分の人生をよりよく充実したものにする力がつくと思う。

話し手の意志や意図を聞き手に理解させる

自分を見直したり、いろいろな人の話を聞くことによって、自分の人生をよりよく充実したものにする力がつくと思う。

仕事って面倒だと思っていたけれど、楽しそうだと思えた。

みんなで考えたら、すごいアイディアがでてきた。それぞれに得意なことがあるとわかった。

やる気のある、カッコイイ大人と出会う。

大学生から、将来の夢と今の学びを詳しく聞く。

作業は大変だったけれど、やりがいを感じたし、終わった時には達成感すら感じた。それは、多分自分のやっている事が人の役に立つことだったからだと思う。

チームで協力してやりとげる、達成感を味わう。

高校「家庭基礎」の消費生活分野は、急速に利用が増加しているネットショップも含んでいる。企業と連携した授業プログラムの実施は、リアルタイムな情報を生徒に発信できるとともに、IT産業を将来の職業の選択肢として具体的に考えるチャンスとなった。

今回は企業側に立って「キャッチコピー作成」を行い、ネットショップ利用について考える実習を行った。この授業で、ネットショップの課題の理解に加えて、「社会・経営系の職業は心理学的要素もあり、やりがいがある仕事だと感じた」という生徒の感想もあり、キャリアデザインを教科の授業の中に導入する成果を感じた。

外部の方々と連携して一番大きく変わったことは、生徒達が楽しくグループワークをしたり、意見交換、考えの共有、企画立案、プレゼン等、様々な社会へ出たときに必要な技術が身についてきたことだ。抵抗感のあった教員側も生徒の素直な変化を見て、外部と連携した授業の意義をはっきりと認識できたのではないかと思う。運営面では誰かが苦労するかもしれない。しかし、それ以上に成果は大きく、生徒のために頑張る価値のある取組だと思っている。